

パプアニューギニアと東ティモールにおいて、ジェンダーに基づく暴力を経験した生存者を中心とした対応を提供



2020-2022年の資金援助:

UNFPA（国連人口基金）に100万米ドル

目標:

パプアニューギニア（PNG）と東ティモールのすべての女性と女子が暴力にあう事の無い生活を送ること。

目的:

パプアニューギニアと東ティモールにおいて、暴力を経験している女性と女子が暴力からの長期的な回復をはかるために、質が高く必要不可欠なサービスを利用（できるように）すること。

背景:

ジェンダーに基づく暴力（GBV）とは、人の意思に反して行われる行為

であり、社会的に男女の差異に基づくとされるすべての有害な行為を意味する総合的用語です。これには、身体的、性的、精神的な危害や苦痛、それらの行為による脅迫、強要、及びその他の自由の剥奪が含まれます。

GBVは生命を脅かす人権侵害であるとの認識が高まっているにもかかわらず、サービスの質の低さや複数の対応部門間の調整不足が、アジア太平洋地域におけるGBVへの効果的な対応の大きな障害となっていました。

「パプアニューギニアと東ティモールにおける保健セクターの国家能力を強化し、ジェンダーに基づく暴力を受けた生存者を中心とした対応を提供する」このプロジェクトでは、親密なパートナーによる暴力が生涯にわたってつづく率が最も高い地域にある2つの国に焦点を当てます。

（パプアニューギニア68%、東ティモール59%）この計画は、効果的にGBVに対応するには何が有効かについて、世界や地域にある確かな実例に基づいて作成されます。

このプロジェクトにより、パプアニューギニアで約 418,067 人が、東ティモールで 100,350 人がその恩恵をうけます。

パプアニューギニアと東ティモールにおけるGBV（ジェンダーに基づく暴力）

- パプアニューギニアにおけるGBVの規模は、流行ともいえる大きさと考えられています。最近の調査では、**68%の女性**が、（それまでの）生涯に何らかの身体的暴力あるいは性的暴力を経験したと報告しています。
- パプアニューギニアのブーゲンビル自治区で行われた男性の暴力加害に関する2012年の研究によると、**87.6%の男性**が親密なパートナーに対する身体的、感情的、経済的な虐待を認めていることがわかりました。
- 東ティモールで最も蔓延している人権問題の一つがGBVであり、女性（15～49歳）の**約3人に2人**が（それまでの）生涯に

親密なパートナーからの暴力を経験したと報告しています。

- 東ティモールでは、GBVに対する寛容度が高く、そのうちの多くの女性が親密なパートナーからの暴力を経験していると報告しています。**女性と男性が4人いれば3人以上は男が妻に身体的に殴ることが正当化される**と信じています。



戦略

- プロジェクト実施地域におけるGBV事例に対応するための保健セクターの受け入れ能力の査定を行います。
- GBVに対応する保健従事者のためのWHOカリキュラムに基づいて、保健セクターのGBV対応に関する保健サービス提供者向けの研修パッケージ（勤務しながらの）を開発します。
守秘義務関連を含み、又、保健スタッフの能力向上のための
- 連続研修を実施し、女性や女子の様々なグループを対象としたサービスの提供を行います。
- 東ティモールの優先順位の高い保健施設の中に、LIVESや必須の保健サービスパッケージを提供するスペースを設け、必要に応じて守秘義務とプライバシーを確保します。
（LIVESとは：Listen聞く, Inquire尋ねる, Validate価値を認める, Enhance価値や精度を高める、Safety and Support安全と支援）
- WHOのガイドラインやツールに基づいたサービス開始前のカリキュラムにGBVの特定、対応、照会に関する内容を組み入れた教材の開発を通して、技術支援を提供します。
- GBV照会経路と事例管理システムへの医療提供者の参加を強化し、すべてのプロジェクト実施地でのGBVへの多部門による強力な対応を確実にします。
- パプアニューギニアの3つの州に包括的なGBV対応サービスを提供するために、家族支援センターを拡大します。
- パプアニューギニアと東ティモールにおけるGBVに対応するための保健セクターガイドラインの実施に関する調査を行います。
- プロジェクト実施地域で、多セクターにわたるGBV対応チームによる、暴力からの生存者を中心とした事例管理と照会に関しての合同研修を準備企画します。
- GBVの健康への影響や、医療サービスを始めとする諸サービスの利用に関するコミュニティの意識向上活動を計画します。
- プロジェクト実施地域ごとに、GBV対応サービス提供者の連絡先が記載されたGBV照会経路の情報パンフレットを作成します。
- 暴力から逃れた生存者を中心とした保健セクターの対応の実施とその影響に関する行動調査を行います。



期待される成果



パプアニューギニアと東ティモールのプロジェクト実施地域の国家レベルおよび地方レベルの保健サービス提供者たちには、世界的なガイドラインに沿った質の高い必須保健サービスをGBVからの生存者に提供するための知識と能力が備わります。



パプアニューギニアと東ティモールの国家レベルと地方レベルの関連政府当局に、多部門にまたがるGBV調整メカニズムを確立する能力が備わります。



すべてのプロジェクト実施地では、世界的なガイドラインに沿った機能的な照会・委託経路が確立されます。

プロジェクトで訓練を受けた医療従事者の少なくとも70%において、GBV対応のための生存者中心の原則に関する知識が80%増加したことが明らかに示されています。